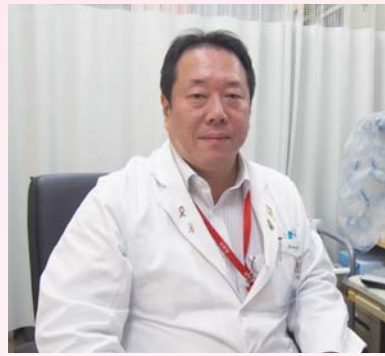




横川 秀男

医療法人横浜柏堤会 理事長 / 戸田中央医科グループ 副会長

戸塚共立メディカルグループ（医療法人横浜柏堤会）では、乳がん撲滅を目的としたピンクリボン運動に積極的に取り組んでおります。女性外来専門の戸塚共立第1病院附属サクラス乳腺クリニックでは、医師から検査技師まで全て女性のスタッフを配置、ピンクリボンアドバイザーの資格を持つスタッフや、全国に19カ所しかないMRIガイド下生検の設備も備え、安心して検査を受けられる環境を整えています。皆さん、どうぞご自身のため、大切な人のために乳がん検診をお受けください。



岡本 譲二

戸塚共立第2病院 乳腺外科部長

- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会認定医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医



岡本 直子

戸塚共立第1病院附属サクラス乳腺クリニック 院長

- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・医学博士



西澤 昌子

戸塚共立第1病院附属サクラス乳腺クリニック 乳腺外科

- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・医学博士



御子神 哲也

戸塚共立第1病院 病理診断科

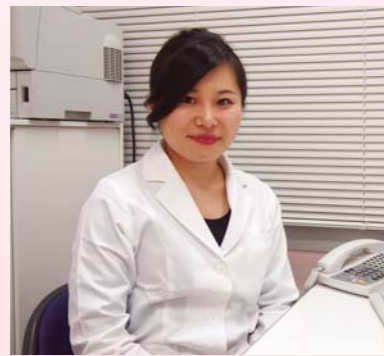
- ・日本病理学会病理専門医
- ・日本臨床細胞学会細胞診専門医



戸崎 光宏

NPO法人乳がん画像診断ネットワーク理事長
さがらプレストピアヘルスケアグループ乳腺科部長
医療法人横浜柏堤会 乳腺診療アドバイザー

- ・日本医学放射線学会放射線診断専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・医学博士



犬塚 真由子

昭和大学病院プレストセンター 認定遺伝カウンセラー

乳がん検診・診療の流れ



戸塚共立メディカルサテライト

検診

視触診 マンモグラフィ検査 エコー検査
人間ドック 婦人科検診

〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3970-5

TEL: 0120-733-153【予約専用】
TEL: 045-869-4605【お問合せ】



要精密検査と判定された場合



戸塚共立第1病院附属サクラス乳腺クリニック

精密検査・検診

視触診 マンモグラフィ検査 エコー検査
MRI検査 細胞診・エコーガイド下生検
ステレオガイド下生検 MRIガイド下生検

〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町4253-1-601
サクラスビル6階

TEL: 045-869-6888

手術後の通院治療



治療が必要と判断された場合



戸塚共立第2病院

治療

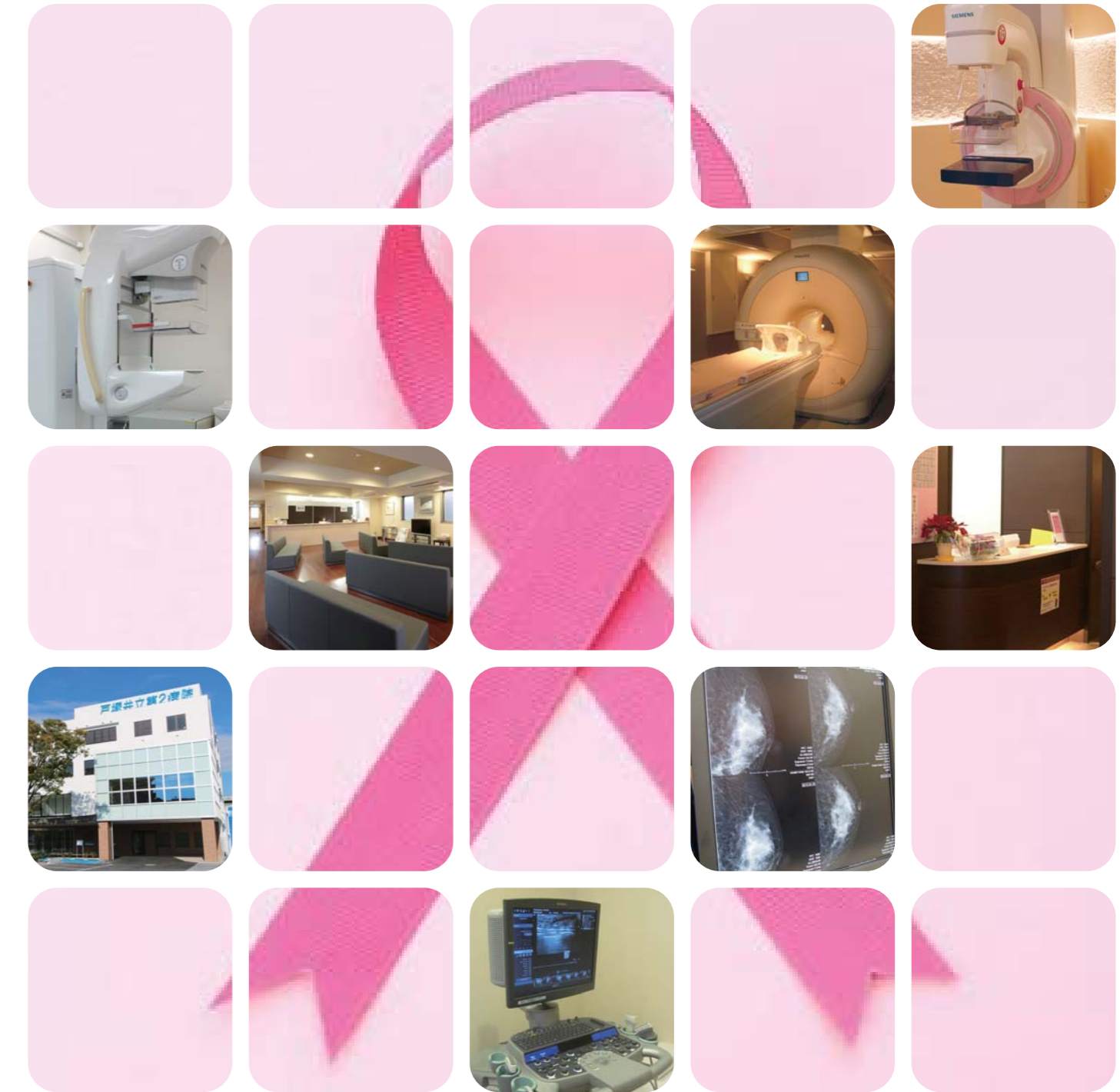
手術 抗がん剤治療
アフターフォロー

〒244-0817
神奈川県横浜市戸塚区吉田町579-1

TEL: 045-881-3205

乳がん検診・治療のご案内

自分のために、大切な人のために



医療法人横浜柏堤会



戸塚共立メディカルグループ

マンモグラフィ検査

触診でもわからないような小さな石灰化や腫瘤（しこり）を発見することに適しています。早期乳がんの唯一のサインであるごく小さな石灰化を鮮明に写すことができるのが大きな特徴です。



フォトンカウンティング技術を搭載した世界一の低被ばく線量「MicroDose SL」
戸塚共立メディカルサテライト

フォトンカウンティング技術とは、X線光子をカウントすることで画像を作り出す技術のことで、従来の技術と比べてX線を検出する効率が非常に高く、少ないX線量でも高画質の画像を作成することが可能です。これにより、従来のマンモグラフィ装置と比較して、40%もの被ばく線量の低減が実現しました。



SIEMENS社製「MAMMOMAT Inspiration PRIME Edition」

3Dトモシンセシス対応多機能機種

「MAMMOMAT Inspiration PRIME Edition」

戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニック

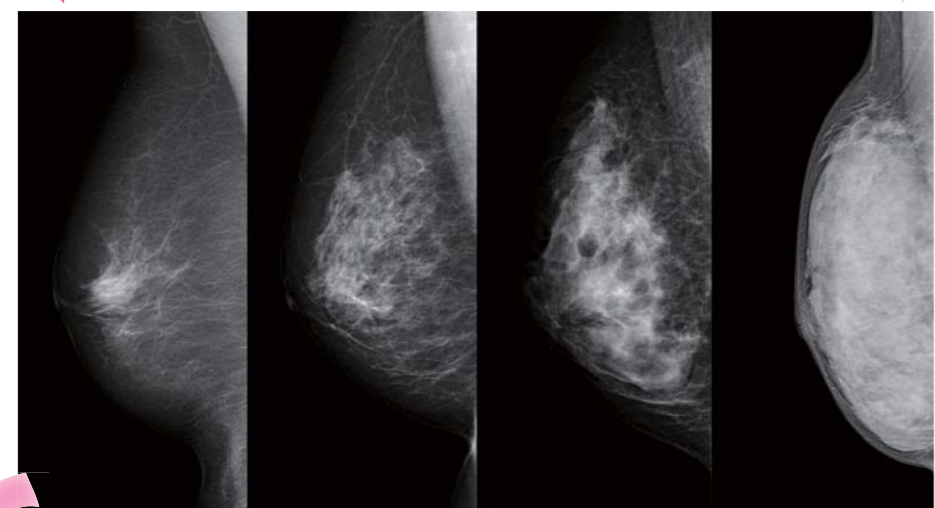
従来の2Dでは乳腺の重なりによって見えなくなり、病変を見落とすことがありました。3Dトモシンセシスは乳房1mm単位のスライス画像を作成する機能で、鮮明に写すことが可能になりました。乳腺の重なりが多い高濃度乳腺の方にも有効と考えられます。

高濃度乳腺「デンスブレスト」～4種類の乳腺タイプ～

マンモグラフィ検査では乳がんや乳腺組織は白く、脂肪組織は黒く写ります。乳がんが黒い(脂肪組織)ところに発生すれば容易に発見できますが、白い(乳腺組織)ところに発生すると発見が困難になります。乳腺組織が乳房内により多く発達している状態である高濃度乳腺「デンスブレスト」の場合、全体的に白く写るため、がんが見逃されてしまう場合もあります。

エコー検査はマンモグラフィ検査とは異なり、周りの乳腺との重なりでがんが見えなくなってしまうことはありません。そのため、高濃度乳腺でも比較的容易にがんを発見することができます。

見つけやすい ← 病変の見つけやすさ → 見つけにくい



脂肪性 乳腺散在 不均一高濃度 高濃度(デンスブレスト)

マンモグラフィ結果報告書			
乳種	検査部位	検査日	検査時間
乳種	検査部位	検査日	検査時間
検査結果	検査結果	検査結果	検査結果
検査結果	検査結果	検査結果	検査結果
検査結果	検査結果	検査結果	検査結果
検査結果	検査結果	検査結果	検査結果

▲戸塚共立メディカルサテライト、戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニックでは、ご自身の乳腺濃度や受診結果の内容について理解が深められる検診結果票を使用しています。

エコー検査

エコー(超音波)検査は、触診でもわからないような小さな腫瘤(しこり)を発見することに適しています。放射線被ばくを避けたい妊娠中の方や乳腺密度が高い方などはエコー検査が適しています。

手で押さないシアウェーブエラストグラフィ機能搭載

「ACUSON S3000」 戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニック

エラストグラフィは、超音波検査で組織の硬さを画像化する技術のことで、プローブを検査部位にあて、軽く押して力を加えた時の変形の程度を色で表します。手で押さないタイプのエラストグラフィは、音の圧力で組織を押し、音の圧力で硬さの画像化、数値化ができるため、誰が検査をしても非常に高い客観性と再現性が得られます。



SIEMENS社製「ACUSON S3000」

MRI検査

マンモグラフィ検査やエコー検査と比較して感度の高い検査のため、他の検査で見つからずMRI検査のみ見つけられる病変「MR検出病変」と遭遇することがあります。このうち1/3が乳がんで、その多くは早期の乳がんといわれています。

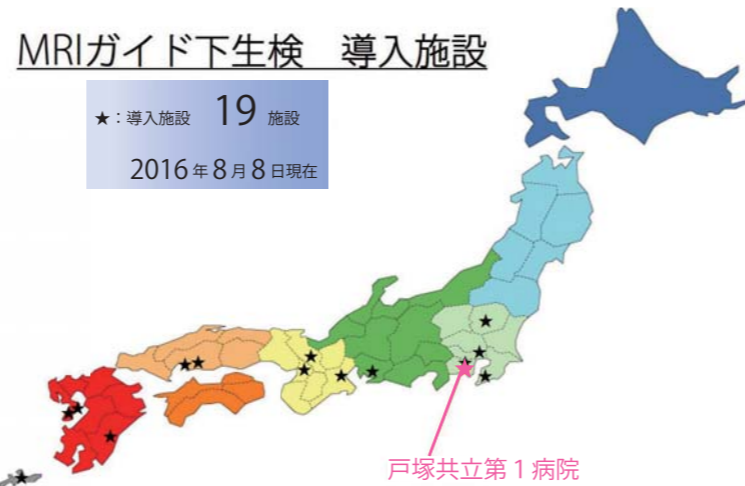
*MRIガイド下生検

MR検出病変は、画像のみで良性か悪性かを確定することが非常に困難です。そこで、病変の組織の一部をMRIを撮像しながら針で刺して採取し、顕微鏡などで調べる「生検」を行うことが必要となります。

MRIガイド下乳房生検は技術的には確立した検査ですが、日本では現在はまだ保険診療の適応となっていないため自費診療となります。戸塚共立第1病院では、神奈川県で2番目の実施施設として、戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニック・戸塚共立第1病院附属さくらクリニックと共同して、MRIガイド下乳房生検が行える環境を整えました。受付窓口は戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニックです。お気軽にお問い合わせください。

MRIガイド下生検 導入施設

★: 導入施設 19 施設
2016年8月8日現在



マンモグラフィ

乳腺MRI



セカンドオピニオン

戸塚共立第1病院附属サクラ乳腺クリニックでは、セカンドオピニオン外来を行っています。現在の治療方針や次の段階の治療選択などについて、主治医とは別の角度から検討することができ、治療の選択の幅を広げることができるのが最大のメリットです。乳がん患者様一人ひとりが納得した上で最善の治療を受けることができるよう、ご相談を受け付けております。

担当医: 戸崎 光宏 料金 10,800円(30分) ※予約制



遺伝カウンセリング

乳がんの5~10%は遺伝性であるといわれています。遺伝カウンセリングでは、その方のHBOC(遺伝性乳がん・卵巣がん症候群)の可能性について評価を行い、十分な遺伝医学的情報をもとに遺伝子検査を受けるかどうか、ご相談させていただきます。また、検査を受ける受けないに関わらず、その後の対応についても話し合いを行い、患者様にとって最善の道と一緒に考えます。

カウンセリング料金 5,400円(1時間) ※予約制



治療

治療は戸塚共立第2病院の乳腺外科にて行います。乳がん治療の大きな柱として「外科療法」「薬物療法」「放射線療法」の3つがあげられます。状況に合わせて、これらを適切に組み合わせながら治療を進めていきます。



*乳房温存手術

手術の原則はもちろん、がんをすべて取り除くことです。その中で、比較的元通りに近い状態で乳房が残せると考えられるときに「乳房温存手術」を行います。薬物療法を先に行い、がんを小さくしてから温存手術をする方法なども提案しています。温存率という数字に固執することなく、患者様一人ひとりの病態やニーズに合わせ、最も適した治療法を患者様と一緒に考えます。

*センチネルリンパ節生検

乳がんでは、がんが転移しやすいリンパ節を調べる検査が治療方針を決定するうえで重要になります。戸塚共立第2病院ではリンパ節の切除範囲を最小限にとどめ、患者様の負担を軽減するために「OSNA法専用遺伝子増幅検出装置」を導入しています。OSNA法は分子生物学的な方法を用いた新しいリンパ節転移検査法で、手術中にリンパ節転移を検査することができ、高精度な判定が得られます。